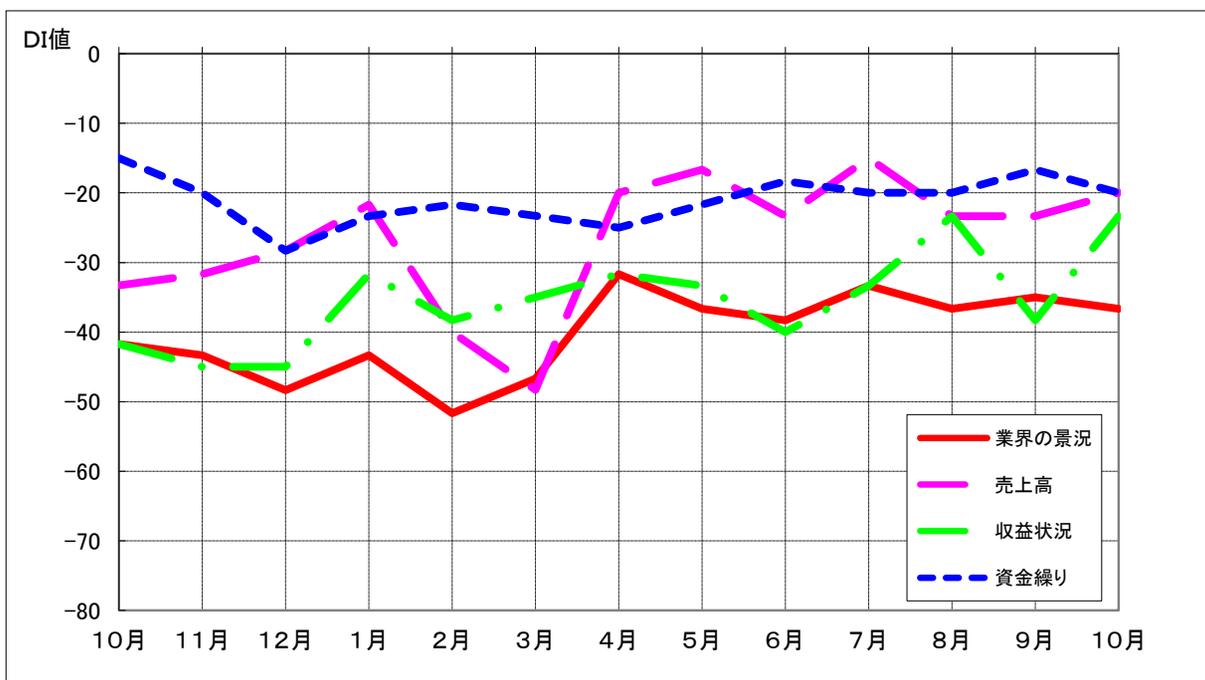


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成23年10月～平成24年10月

単位:ポイント



	H23			H24									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
業界の景況	-41.7	-43.3	-48.3	-43.3	-51.7	-46.7	-31.7	-36.7	-38.3	-33.3	-36.7	-35.0	-36.7
売上高	-33.3	-31.7	-28.3	-21.7	-40.0	-48.3	-20.0	-16.7	-23.3	-15.0	-23.3	-23.3	-20.0
収益状況	-41.7	-45.0	-45.0	-31.7	-38.3	-35.0	-31.7	-33.3	-40.0	-33.3	-23.3	-38.3	-23.3
資金繰り	-15.0	-20.0	-28.3	-23.3	-21.7	-23.3	-25.0	-21.7	-18.3	-20.0	-20.0	-16.7	-20.0

○10月のDI値は前月と比べ、2項目で悪化し、2項目で改善した。「業界の景況」DI値は1.7ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイントとそれぞれ悪化し、「売上高」DI値は3.3ポイント、「収益状況」DI値は15ポイントとそれぞれ改善した。また、前年同月と比べると、「資金繰り」DI値で5ポイント悪化したが、「業界の景況」DI値で5ポイント、「売上高」DI値で13.3ポイント、「収益状況」DI値は18.4ポイントそれぞれ改善した。製造業においては、受注の減少が根強く、非製造業においては、売上高の増加が見られる業種とそうでない業種があり、バラつきがある。総体としては、長引く景気の低迷や諸外国との関係悪化等により先の見通しが立たないという声が多い。

○組合の特記事項として、製造業では、製材業から、地元物件が非常に少なく、ハウスメーカーの進出が目につくとの声、金属製品製造業からは、受注不足により事業縮小を実施する企業が発生との声が出ている。非製造業では、商店街の一部でイベントの開催があり、悪天候にも係わらず賑わいを見せたとの声、建設業からは、収益の悪化により新規雇用が出来ず、作業員の高齢化も進んでいるため、人員確保が出来ないとの声が出ている。また、行政庁・中央会に対する要望として、内需拡大等の景気対策の実施、雇用調整助成金制度のさらなる充実を望む声があった。